

桜美林幼稚園自己点検・自己評価の結果について

2015年6月

桜美林幼稚園では、神様から授かったかけがえのない生命が、希望と喜びをもって健やかに育ってほしいと願いつつ、日々保育の業に取り組んでいます。これからも現状に甘んじることなくさらに保育内容の充実を図り、豊かで安定した環境を整える為に、これまでの歩みをつぶさに振り返り検証する取り組みを、昨年度に引き続き2014年度も実施いたしました。ここに第7回目となる自己点検・自己評価の結果をご報告させていただきます。

I. 自己点検評価

【実施内容】

保護者アンケート	実施日	2015年1月19日～2015年1月26日
教職員による検討	実施日	2015年5月20日
調整・検証支援		株式会社トランストラクチャ

【評価結果】

保護者の皆様からいただいた評価の結果を総合すると、昨年度同様、今年度も概ねのご満足をいただいている結果であったと判断しております。

2014年度には夏休みの預かり保育を実施しました。これについては、保護者の皆様から高い評価が得られたものと考えております。父母の会の開催回数については、異なる立場の方から引き続き多様なご意見を頂戴しております。今後ともこれらご意見を尊重しつつ、より良い方向に改善を図っていきたいと考えております。

また、キリスト教保育は当園の根幹となる考え方です。長年にわたって築き上げてきたキリスト教主義の伝統を堅持しつつ、小学校就学前という非常に重要な時期にあつてどのような学びが最も重要なのかという視点を常に見失わず、保育の業のさらなる充実に努めていきたいと願っております。保護者の皆様とのより良いコミュニケーションのあり方、専門教育の拡充、父母の会の進め方など、さらに改善していくべき課題があることを肝に銘じ、着実に保育の質を進化させていくよう努力する所存です。これからもどうぞよろしく願いいたします。

【桜美林幼稚園に入園された理由について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
保育方針に賛同できたため	24	20	0	0	0	0	44
保育内容がよいため	27	17	0	0	0	0	44
行事・イベントが適度に行われているため	19	22	3	0	0	0	44
キリスト教の精神に基づいた教育が行われているため	14	18	10	1	1	0	44
モンテッソーリ教育(おしごとのおうち)が行われているため	26	17	1	0	0	0	44
みんなの日(縦割り教育)が行われているため	18	23	3	0	0	0	44
専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)が行われているため	24	18	2	0	0	0	44
保育時間が適切であるため	7	22	14	1	0	0	44
預かり保育があるため	5	15	14	5	3	2	44
教職員の人柄がよいため	35	9	0	0	0	0	44
子どもに対する教職員の数が十分であるため	33	9	1	1	0	0	44
教職員と保護者のコミュニケーションが適切に行われているため	24	16	4	0	0	0	44
園の設備・施設がよいため	19	18	6	0	1	0	44
自然に恵まれているため	20	19	5	0	0	0	44
安全に配慮された環境づくりがされているため	21	18	5	0	0	0	44
園の規模が適切であるため	18	19	6	1	0	0	44
送迎バスがあるため	19	18	7	0	0	0	44
家からの距離が近いため	11	12	12	7	0	2	44
職場との距離が近いため	2	2	12	2	11	15	44
登園の送り迎えに都合がよい立地であるため	9	11	16	2	1	5	44
入園料・保育料が適切であるため	6	24	12	2	0	0	44
近所での評判がよいため	9	14	14	6	0	1	44
給食ではなく、お弁当であるため	9	11	14	8	1	1	44
兄弟が同じ園に通っているため	17	3	3	3	4	14	44
知り合いの子どもが同じ園に通っているため	7	4	10	3	6	14	44
保護者の出身園であるため	3	1	7	5	12	16	44
父母の会、委員会、ボランティア等保護者同士のコミュニケーションの場があるため	2	13	11	8	4	6	44

【桜美林幼稚園の運営について】

＜1＞お子さまの保護、預けるときのお安心感について	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
お子さまは園で大切にされていると思いますか。	76	22	1	0	0	4	103
園内では安全対策が十分とられていると思いますか。	49	47	2	1	0	4	103
交通安全教室、各種避難引取訓練は安全を高めることに役立っていますか。	50	45	3	0	0	5	103
保育中の病気(発熱や嘔吐など)や怪我などの処置は十分なされていますか。	62	31	3	0	1	6	103
施設内で感染症が発生した場合には、迅速な処置がなされていますか。	65	28	4	0	0	6	103
(アレルギーの該当者のみお答えください。) アレルギーの対応について説明を受けましたか。	21	0	0	0	5	77	103
(アレルギーの該当者のみお答えください。) アレルギーについての相談をすることができますか。	18	2	1	0	0	82	103
(アレルギーの該当者のみお答えください。) 園のアレルギーの対応は十分なされていますか。	16	3	2	0	2	80	103
「預かり保育」を利用していますか。 ※利用している場合は「1」に、していない場合は「5」に○をつけてください。	68	0	0	0	23	12	103
前の間で、「1」を選択された方に伺います。 「預かり保育」は安心して預けられる体制になっていますか。	55	12	0	0	0	36	103

＜2＞保育内容について	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
担当の教職員は、お子さまの良いところや個性を認めていますか。	61	36	2	0	0	4	103
園の生活において、身近な自然や社会と十分に関わっていますか。	49	43	6	1	0	4	103
園では、お子さまの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊び等が行われていますか。	61	38	0	0	0	4	103
園には、お子さまの発達や意欲を促すような遊具・教材が十分に用意されていますか。	64	34	0	0	0	5	103
園では、集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか。	61	38	0	0	0	4	103
園では、あいさつなど、基本的な生活習慣が身につくように指導していますか。	62	36	1	0	0	4	103
園の生活において、自分のことは自分でするなど、自立への指導がなされていますか。	64	33	2	0	0	4	103
園での行事は楽しく、子どもの成長に役立つものになっていますか。	71	26	1	1	0	4	103
お子さまが園の中で落ち着いて過ごせる雰囲気がありますか。	70	28	0	1	0	4	103
お子さまは登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか。	70	26	1	1	1	4	103

＜3＞特徴的な保育内容について	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
キリスト教の精神に基づいた教育に満足していますか。	52	44	5	0	1	1	103
モンテッソーリ教育(おしごとのうち)に満足していますか。	79	24	0	0	0	0	103
みんなの日(縦割り教育)に満足していますか。	52	41	6	3	0	1	103
専門教育(英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察)に満足していますか。	50	38	12	1	0	2	103

<4>保護者への連絡・説明について

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
お子さまの様子について、保護者への連絡対応は十分にされていますか。	56	41	3	2	0	1	103
保育中の発熱や怪我などの処置、保護者への連絡対応については十分ですか。	62	34	1	2	0	4	103
施設内で感染症が発生した場合には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか。	72	29	1	0	0	1	103
園からのたよりやその他の方法で、日々のお子さまの様子や気持ちを知ることができますか。	48	42	9	3	0	1	103
園からのたよりやその他の方法で、指導計画やその内容を知ることができますか。	51	46	4	1	0	1	103
園からのたよりで、必要に応じた感染症や健康のお知らせは役に立っていますか。	54	46	2	0	0	1	103

<5>保護者とのコミュニケーションについて

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
子育てなどについて、家庭と園に信頼関係があると思いますか。	59	39	4	0	0	1	103
要望や不満は園に対して言いやすいですか。	43	43	9	6	0	2	103
お子さまの気持ちや子育てなどについて、教職員と話したり、相談することができますか。	55	41	5	1	0	1	103
園は要望や不満などにきちんと対応していますか。	49	43	8	2	0	1	103
保護者が大切に考えていることについて、教職員は話を聞く姿勢がありますか。	63	36	3	0	0	1	103

<6>園の方針・計画について

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
園運営の基本的な考え方について、説明を受けたことがありますか。	38	56	4	0	0	5	103
園の運営方針や保育に関する基本的な考え方は賛同できるものですか。	42	52	3	0	1	5	103
園の指導計画やその内容は適切なものであると感じますか。	47	49	1	1	0	5	103
園の方針・計画に沿った教育が行われていると感じますか。	46	51	1	0	0	5	103

<7>保護者への対応、配慮について

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
教職員は、保護者やお子さまに関するプライバシーを守っていますか。	59	34	3	0	1	6	103
保育参観、親子触れ合いの会、ボランティア活動などは有意義なものとなっていますか。	51	39	5	3	0	5	103
月一回開かれる父母の会は有意義な内容ですか。 (父母の会で扱ってほしいテーマがありましたら自由意見に記載をお願いします)	31	51	12	1	1	7	103
父母の会の開催頻度は適切ですか。 (希望する開催頻度が具体的にありましたら、自由意見に記載をお願いします)	20	47	21	5	3	7	103
行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていますか。	29	45	18	3	0	8	103
委員会活動(運営・バザー・運動会・ヤング・卒対)に参加したことがありますか。	82	0	0	0	12	9	103

<8>入園時のプロセスについて

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
入園に際し、理念、方針、教育目標などについてわかりやすい説明がありましたか。	20	18	1	1	0	4	44
あなたは入園のまえに施設を見学しましたか。 ※見学した場合は「1」を、見学しなかった場合は「5」を選択してください。	40	0	0	0	0	4	44
入園前の問い合わせや見学の際は、快く対応してくれましたか。	33	7	0	0	0	4	44

<9>各種おたよりについて

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
毎月発行の「月のおたより」は読み易いですか。	52	40	7	0	0	4	103
毎月発行の「学年だより」の他にクラスの様子報告のおたよりがあると良い と思いますか。	42	33	18	5	1	4	103
毎月発行の「たのしくたべようニュース」は有益だと思いますか。	26	56	12	4	1	4	103
毎月発行の「ほけんニュース」は有益だと思いますか。	27	56	11	3	2	4	103
毎学期発行の「おしごと」のおたよりは有益だと思われませんか。	49	46	2	1	1	4	103
年1回発行の「桜美林幼稚園だより」は紙面のリニューアルによって読み易 くなりましたか。	27	54	19	0	0	3	103

<10>2014年度園が実施した改善について

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
夏の預かり保育は、子供の負担を考慮し5.5時間としましたが、実施して良 かったと思いますか。	32	29	25	1	2	14	103

<11>その他(食事、園バス)について

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
お弁当を楽しみながら食べていると思いますか。	56	41	5	1	0	0	103
毎日のお弁当作りは大変ですか。	9	32	23	27	12	0	103
時には給食があっても良いと思いますか。	32	30	15	9	17	0	103
現在のバス乗降場所や園バスの体制・対応は適切に行われていますか。	40	44	11	0	2	6	103

<12>総合的な感想について

	強く そう思う	そう思う	どちらで もない	そう思わ ない	全くそう 思わない	未回答	合計
園を総合的にみて満足されていますか。	77	24	1	1	0	0	103

II. 財務の状況

2014年度は、帰属収入合計約9,094万円に対し、消費支出の合計は約1億5,399万円となりました。帰属収入とは、保育料、入園料、補助金など、昨年度1年間に本園が受け取った金額の合計です。また、消費支出とは、教職員の人件費、消耗品費など、昨年度1年間に本園が支払った、本園を運営していくのに不可欠なさまざまな支出の合計です。差し引き約6,305万円の支出超過となりました。なお、帰属収入のうち約478万円を園の将来の発展に備えるための基本金に組み入れました。

消費支出の中には、2014年度中に実施した大屋根の改修工事や、園庭の大型複合遊具の入れ替えなど、施設保全と園児の安全を守るための環境整備に関する費用が含まれています。

【帰属収入の部】

学生生徒等納付金	50,583,000
授業料	36,507,000
入学金	6,370,000
施設設備資金	980,000
教育充実費	6,726,000
手数料	200,000
入学検定料	200,000
証明手数料	0
寄付金	255,633
特別寄付金	6,720
一般寄付金	220,521
現物寄付金	28,392
補助金	28,728,875
国庫補助金	0
地方公共団体補助金	28,728,875
東京都私学財団補助金	0
資産運用収入	661,029
第3号基本金引当資産運用収入	0
受取利息・配当金	140,134
施設設備利用料	520,895
資産売却差額	0
土地売却差額	0
事業収入	1,641,650
補助活動収入	873,650
受託事業収入	0
公開講座収入	0
免許状更新講習料収入	0
その他の事業収入	768,000
雑収入	8,871,718
東京都私学財団交付金収入	7,522,422
入学案内書頒布収入	18,000
その他の雑収入	1,331,296
帰属収入の部合計	90,941,905

【消費支出の部】

人件費	112,944,269
教員人件費	91,111,820
職員人件費	12,257,010
役員報酬	0
退職金	7,522,422
退職給与引当金繰入額	2,053,017
教育研究費	18,327,423
消耗品費	2,988,335
光熱水費	1,870,830
旅費交通費	1,315
奨学費	0
減価償却費	6,076,099
通信運搬費	334,264
印刷製本費	133,781
出版物費	131,846
修繕費	2,070,425
損害保険料	159,094
賃借料	177,399
公租公課	35,130
諸会費	178,254
会議費	0
報酬・委託・手数料	3,786,329
広報費	2,395
雑費	381,927
管理経費	22,723,294
消耗品費	1,228,280
光熱水費	330,606
旅費交通費	31,010
減価償却費	4,958,114
通信運搬費	79,810
印刷製本費	204,514
出版物費	3,857
修繕費	867,779
建物取壊し費	232,800
賃借料	12,359
公租公課	241,169
諸会費	28,408
会議費	0
報酬・委託・手数料	13,996,917
広報費	40,454
雑費	321,699
福利費	26,167
渉外費	16,992
補助活動支出	102,359
借入金等利息	0
借入金利息	0
学校債利息	0
資産処分差額	1
徴収不能額	0
消費支出の部合計	153,994,987

Ⅲ. 2014 年度運営の状況

2014 年度も主の御守りの中で、また多くの皆様の祈りに支えられて、大きな事故もなく概ね計画通りに活動を展開し、無事に保育を終えることができましたことを先ずは心からの感謝を申し上げます。

キリスト教精神を大切に守り、これまで築き上げてきたキリスト教保育を基盤として、2014 年度は、特に以下の点に注力し事業を展開しました。

- ①夏休み期間中の預かり保育の実施（子育て支援の観点から）
- ②未就園児クラスの充実と園庭開放の充実（地域貢献の観点から）
- ③園庭遊具の入れ替え（安心安全の確保の観点から）

また、教諭一人ひとりが現状に甘んじることなく、個々のスキルをアップさせる為の園外研修に積極的に参加するとともに、モンテッソーリ教育を深める園内研修を実施しました。知識経験を共有し、また学びを継続的に深めることのできた 1 年であったと感じています。

2015 年 4 月からは、「子ども・子育て新制度」が正式にスタートし、幼児教育を取り巻く社会情勢は厳しい時代を迎えています。たとえどのような時代にあっても、幼児期の教育は人間形成に最も大切な時期の教育であることを全教職員が深く認識し、神さまからいただいたかけがえない命と賜物を豊かに育み、将来、国際人としてしっかり立ち続けることのできる強さと優しさを育む業に取り組んで参りたいと願っています。

ここに以下のとおり 2014 年度の活動について報告申し上げます。

1. 園児数

収容定員	入園児	卒園児	在園児		年少	年中	年長	未就園児
160	50	49	男児	59	17	24	18	23
			女児	66	25	18	23	18
			計	125	42	42	41	41

※入園児は、2014 年 4 月 10 日入園 ※卒園児は、2015 年 3 月 13 日卒園

※在園児及び未就園児は、2014 年 5 月 1 日現在

2. 教職員数

園長	教頭	専任教諭	非常勤教諭	教育補助教諭	契約職員	パート職員	看護師(兼務)	バス(委託)
1	1	7	6	3	1	4	1	3

※教育補助教諭は、体育講師 2 名、英語講師 1 名

※看護師は、大学保健衛生支援室兼務 ※バス運転手は、株式会社ナルドからの派遣

3. 2014年度に取り組んだ主な事業

(1) キリスト教保育の推進

キリスト教保育の最も大切なことは、幼子一人ひとりが、神に与えられた命を喜び輝かせることであると認識しています。たとえ目には見えなくても、主が共にいてくださることを信じ、そのことを感謝できる人になれるよう、礼拝を大切に守り、聖書の御言葉を伝え、祈りをもってその日を始め、祈りをもってその一日を終わる日々を積み重ねました。その積み重ねが、他者を思い、互いに尊重する心は聖書の御言葉によって深く幼子の心に刻まれ、将来、国際人として成長していくうえで大切な礎となると確信しています。

(2) 生きる力を育む

「生きる力」の基礎となる「知」「徳」「体」をバランスよく保育に取り入れるため、幼稚園学習指導要領に定める5領域「健康」「人間関係」「環境」「言語」「表現」にわたった年間指導計画及び月案を立て、その計画をもとに日々の保育を積み重ねました。年長児は大学の体育講師のもと週1回「体育」を大学の体育館で実施し、また、全学年、「英語」のレッスンを週1回。縦割りでは他学年の園児や教員と触れあう「みんなの日」を年10回。3歳～6歳の特徴的な学び方を活かし、子どもが自分自身で発達しようとする力を援助する「モンテッソーリ教育法」を取り入れた活動を年長児・年中児は週1回～2回、年少児は週2回行いました。

(3) 行事、園外保育・宿泊保育

遠足、運動会、芋掘り、餅つき、動物村、観劇、読み聞かせの会、福祉施設訪問、野菜の栽培、クッキング、昆虫観察、サッカー教室、野球教室、郵便局訪問、顕微鏡観察、宿泊保育等々様々な行事を通して、他者との関わり、体を動かすこと、望ましい食習慣や身近なものへの興味関心を楽しみながら豊かに体験する機会を持ちました。

(4) プレクラス（未就園児クラス）の開設と園庭開放

年々減少傾向にある園児を安定的に確保するために、昨年度と同様に未就園児対象のプレクラスを開設すると共に、子ども・子育て支援の観点から月1回の園庭開放を実施しました。プレクラスは募集を3月に開始し、約3カ月で60名の定員に達したことは園としてはとても嬉しいことでした。参加者の多くは、幾つかの園のプレクラスを掛け持ちをされていたようですが、63%の参加者に入園していただくことができ、プレクラスには参加されていなかった兄弟関係も含めると約70%の方が、早い段階から本園の教育理念及び環境を体感し、他園と比較検討した上での入園であったと考えています。また、年度後半に実施した5回の準備会も入園に向けて親子共に安心感を深

めていただく機会となりました。

(5) 公開講演会等の開催

6月21日(土)に桑田真澄さんをお迎えし、講演会「夢をあきらめない」を開催しました。地域の皆様にも多数ご来場いただき、約260名と大変好評を博した講演会となりました。また11月6日(木)にはここ数年恒例となっている小澤由佳先生(生涯学習センター講師)による「秋の芸術鑑賞会」を開催することができました。2014年度は『ベートーベン～苦悩の生涯と音楽に込められた哲学～』と題し、ピアニストに須藤千晴氏、ヴァイオリニストに椋島大樹氏を迎え、生演奏を交えてベートーベンの生涯を辿りました。園関係者及び生涯学習センター受講生、地域の方々に加え、未就園児を連れて参加できる音楽会として希少な機会となり約100名の方々にご来場いただくことができました。

(6) 預かり保育

本園では、子ども・子育て新制度の保育短時間(8時間)の区分を目安に、保育前後の預かり保育を設定していますが、今まで続けてきた通常の預かり保育に加え、以前より要望のあった夏休み期間中の預かり保育を試験的に実施しました。学園の一斉休暇と土日以外の夏休み期間(7月16日～8月31日)の24日間、毎日平均6名の希望者があり、利用者の合計は144名でありました。近年、町田市では幼稚園児を持つ主婦のパート就労が増加しているとのデータがありますが、教育部分を大切に守りながらも、子育て支援の観点から長期休暇中の預かりは必須との結論に至り、2015年度以降も継続していく方針です。

(7) 教育環境の整備

2014年度の特別予算として計画した園児机8台を入れ替え、また、過去の雨漏りの影響で劣化がひどくなった年長組のロッカーを入れ替えました。更にこれまではMDプレーヤーを使用していましたが、2014年度にCDプレーヤーを全クラスに導入し、その他にモンテッソーリ教具の購入等、園児の安全、環境整備のための計画を予定通り執行することができました。

(8) 安全安心の確保

園庭遊具の定期点検を4月、学校保健法に定められた定期健診を4月5月に実施。園庭複合遊具が設置後25年を経過し経年劣化が著しく、交換部品の製造も既に中止されたことから安全を担保するため新しい園庭遊具に入れ替えました。

(9) 大学との連携、協力

教育実習生は毎年度、複数の大学から受け入れています。桜美林大学からは保育専修コース履修学生を6月と11月各2週間、教育実習生として受け入れました。また希望者によるモンテッソーリ教育見学の受け入れ、大学主催の保育専修生発表会「保育フェア」への参加、保育専修ゼミ生の教育研究「どんぐりひろば」に対する協力、日本語プログラムの外国人留学生に園児との交流体験の機会を提供、生涯学習センター「読み聞かせの会」の講座受講者を対象に発表の機会の提供等、学園内での連携を更に深めることのできた1年となりました。

(10) 教育力向上

学年毎のミーティング及び全体ミーティングを隔週で行い、専任教諭及び非常勤講師による教育内容の点検、改善を定期的に継続しました。また、知識及び技術向上のため、日本モンテッソーリ教育総合研究所の研修に6名の専任教諭が、それぞれ違う項目で2日間ずつ参加し、毎月の園内研修で結果を共有する機会を持ちました。また、8月7日8日の両日には町田私立幼稚園協会主催の教職員夏期研修会に参加し、その他にも『キリスト教保育』の定期購読を継続する中で、キリスト教保育に対する理解を深めつつ、教諭一人ひとりが歩みました。

(11) 自己点検評価

自己点検自己評価のための保護者アンケートを実施、その結果をHPに掲載しました。また、株式会社トランストラクチャの森大哉氏を講師に招いて、アンケート結果をもとに園内研修を4月30日と7月23日に実施し、課題や問題点を洗い出すと共に、改善、向上に努めました。

(12) 幼稚園の在り方

2015年4月から「子ども・子育て新制度」が正式にスタートすることから、本園として今後どのように保育体制を整えるべきかを全体ミーティングの度に、議論し検討を重ねました。その結果、本園としては、幼稚園としての枠組みの中で、どのような時代にあっても、教育機関としてあるべき幼児の健全なる成長に資する保育を目指すことを全員で決議しました。新制度への移行は引き続き動向を慎重に見守りつつ、本園としての特色を更に打ち出し、「守るべきもの」と「変えるべきもの」の検討を2015年度以降も重ねることとしました。

桜美林幼稚園は、これからもキリスト教保育を根幹に置き、保育の充実や等更なる幼児教育の研究開発と子育て支援を図りつつ、たゆまぬ努力を続けて参ります。

以 上